

ITI Scholar NEWS

vol.19 (2025, March)

ITI Section Japan



ITI スカラー通信第 19 号をお届けします

谷ノ口 洋実 先生

University of Geneva

(Geneva, Switzerland)

みなさん、いかがお過ごしでしょうか？

ジュネーブでは天気の良い日が増えており気温も少しずつ上がってきました。日本でも暖かい日が多くなり桜の蕾も大きくなってきて美しい花を咲かせる準備をしていると伺っております。

信じられないくらいのスピードで月日が流れ留学が始まってかれこれ7ヶ月になります。すっかりとジュネーブでの暮らしに染まり、大変なことも多いですが充実した大学での仕事、スイスでの子育てを行っております。

ジュネーブ大学での臨床は多くのケースに携わらせていただいております、その中でも **Randomized Clinical Trial** など非常に興味深いものにも参加させていただいております。初診の問診、患者さんの同意からオペ、データ採取、分析に至るまでを担当しており東京医科歯科大学（現 東京科学大学） 大学院時代に学んだことが活かされていることを実感しております。

ジャーナルクラブも非常に活発で頻度も多く、若い先生から教授までが参加して英語またはフランス語でディスカッションを行います。こちらに関しても大学院時代に週 2 回行われていたジャーナルクラブを思い出します。東京医科歯科大学大学院でも英語で進行から発表・議論をピックアップした論文のディスカッションをしていました。



ジャーナルクラブでの様子

以前にお話させていただきましたが、月に2～4回の頻度でベルンまで電車で行き、Prof. Buser の下でインプラント手術の第一アシスタントをさせていただいております。

スイス中から集まった難症例の手術を間近でアシストさせていただき、オペ前・オペ中・そしてオペ後の Prof. Buser による説明をしっかりと頭に刻み込んでいます。



Prof. Buser と手術前に撮影



バーゼル大学でお会いした Prof. Michael Bornstein が
ジュネーブ大学補綴科を訪れてくださいました。

現在、ジュネーブで行っている研究や臨床も将来、点と点がつながるという形で線になり僭越ながら日本の歯科インプラント、補綴界に少しでも貢献できれば幸いと考えております。

ありがとうございました。

